

豊山町の公共交通の課題とその対応について（案）

課 題	内 容	対応策とその理由
①エアポートウォーク名古屋へのタウンバスのバス停設置	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、エアポートウォーク名古屋へは、名鉄バスの西春・空港線と名古屋空港直行バスが乗り入れをしていますが、タウンバスは乗り入れをしていません。 ・グループ・インタビューにおいて、特に高齢者から、荒天時のアクセスのために乗り入れをして欲しいという要望が複数ありました。 ・アンケートにおいても乗り入れの要望が複数ありました。 	<p>(対応策)</p> <p>○バス停の設置は見送ります</p> <p>(理 由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日の南ルートについては、乗り入れをすることによって所用時間が大幅に伸び、通勤・通学利用者の利便性を損なうことが予想されます。 ・平日の北ルートについては、小牧市民病院利用者の積み残しが頻出することが予想されます。 ・休日については、エアポートウォーク名古屋周辺の道路が非常に混雑するため、南北ルートともに、適正なダイヤを組むことが極めて困難です。
②小牧市の舟橋クリニックへのタウンバス北ルートへのアクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・青山地区の高齢者を中心に、バスで通院したいという要望がグループ・インタビューで複数ありました、また、個別の要望事項としても寄せられました。 ・現在最も近いバス停は「小牧市武道館北」ですが、舟橋クリニックまで目的地まで約1 kmあります。 	<p>(対応策)</p> <p>○バス停の設置は見送ります。</p> <p>(理 由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定の民間病院（事業者）へのアクセスのためにバス停を設置することは、他事業者とのバランスを欠きます。 ・設置によって、北ルートのダイヤと路線が変更され、所要時間が長くなりますが、現段階では、新しいバス停を設置することで利用が増える見通しが得られません。
③青山地区へのタウンバス南ルートバス停の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・豊場地区に比べて、バス停の数が少なく、特に名古屋市方面へのアクセスが不便であることが従来からの懸案になっています。 ・総合計画の住民懇談会で、青山地区の公共交通の充実について要望がありました。 	<p>(対応案)</p> <p>○青山バス停を新規に設置します。また、合わせて青山東栄バス停を通行量の多い現在の位置から、やや東に移動させます。それに伴い、ダイヤと運賃の一部も改定します。（資料2）</p> <p>(理 由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青山地区の住民の名古屋市へのアクセスが向上します。 ・青山東栄バス停へのバスの停止、乗降がスムーズになります。 ・現ルート上にあるため、ダイヤへの影響が軽微です。

課 題	内 容	対応策とその理由
④タウンバス南ルート の休日の増便	<ul style="list-style-type: none"> ・グループインタビュー、アンケートを通じて、性別や年齢などを問わず、最も多かった要望です。 ・特に南ルートの休日の便数が平日よりも少ないこと（夕方、名古屋方面からの豊山町へ戻ってくることにについて）を改善してほしいという要望が多く見られました。 	<p>(対応案) ○増便は行いません。</p> <p>(理 由) ・増便のためには運転手を増やす必要があります、経費も増加しますが、現段階では、増便することで利用者が増える見通しを得られません。</p>
⑤タウンバスの社会教育センター北側道路の路線変更	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の路線は南北ルートともに社会教育センターの北側を通行しています。 ・北側の道路は社会教育センターやプールを利用する子どもたちが歩くので、安全上路線を南側道路（県営名古屋空港中央線）へ移動させてほしいという要望がありました。 	<p>(対応案) ○変更はしません。</p> <p>(理 由) ・現在の道路は安全運行のための十分な幅があります。 ・県営名古屋空港中央線へ移動させると、現在の豊山町役場バス停を、豊山町役場東交差点よりも南へ移動させる必要が生じます。</p>
⑥タウンバスの北ルートの積み残し問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・北ルートの平日に小牧市民病院へ向かう便において、積み残しが発生する場合があります。 ・20年度は12件の、21年度は3件の積み残し（3月24日現在）が発生し、あおい交通の代車によって対応しています。 ・積み残しの平均人数は2.2人です。 	<p>(対応案) ○車両の変更はしません。</p> <p>(理 由) ・積み残しを解消するためには車両を大型化する必要がありますが、青山地区の狭隘な道を安全に通行できなくなることが予想されます。</p>